

図書館職員の研修事業に関する調査

各設問に対しては、貴機関としての立場で回答願います。
*回答は本紙にご記入の上、ファイル添付でお送りください。
(該当する選択肢の□を■に変更。その他意見等の自由記述欄は、複数行・ハミダシも可)

I. 貴機関名および回答された方の連絡先について

① 機関名	
② 回答者の連絡先	
③ 所属部署	
④ 氏名	
⑤ 電話番号	
⑥ 電子メール	

II. 全国規模の主要な研修事業について

大学図書館職員を対象とする全国規模の主要な研修事業として、現在、以下のものがあります。

① 海外長期派遣事業（以下「海外長期」という。）

国立大学図書館協会（以下「国大図協」という。）主催の派遣事業。平成18～20年度は、イリノイ大学モートンソンセンターのアソシエイツ・プログラム（8週間）への研修派遣を実施。（文末の備考をご参照ください）

② 海外短期派遣事業（以下「海外短期」という。）

国大図協主催の派遣事業であり、諸外国の先進的な図書館活動、施設等に関する調査・研究のための短期派遣（1週間から10日間）。（文末の備考をご参照ください）

③ 大学図書館職員長期研修（以下「国内長期」という。）

筑波大学主催による長期研修（2週間）。集合研修により、中堅職員に学術情報とマネジメントに関する最新の知識を教授、図書館経営・情報サービスのあり方への再教育を行う研修。

(<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/choken/> をご参照ください)

④ 大学図書館職員短期研修（以下「国内短期」という。）

国立情報学研究所主催による短期研修（4日間）。集合研修により、若手職員に今後の図書館運営を担う要員となる上に必要な図書館業務の最新の知識を習得する研修。

(<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/librarian/index.html> をご参照ください)

なお、現状では各研修事業の参加費用（旅費）については、①②③が主催機関の全額負担、④は各所属機関の全額負担となっています。

Q1 上記①～④の各研修事業をご存知でしたか。（研修事業ごとにお答えください（以下の設問も同様））

【海外長期】 【海外短期】 【国内長期】 【国内短期】

- | | | | | |
|------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ・はい | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・いいえ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

Q2 【Q1で「はい」とお答えいただいた研修事業に対してのみ】

事業内容の詳細（内容、期間、参加資格、費用負担等）までご存知でしたか。

【海外長期】 【海外短期】 【国内長期】 【国内短期】

- | | | | | |
|---------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ・詳細まで知っている | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・事業の存在のみ知っている | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

Q3 貴機関では、職員を上記の研修事業に参加させることができますか。

【海外長期】 【海外短期】 【国内長期】 【国内短期】

- | | | | | |
|------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ・はい | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・いいえ | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

Q 4 【Q 3で「いいえ」とお答えいただいた研修事業に対してのみ】

参加させられない主な理由は何ですか。（複数回答可）

【海外長期】 【海外短期】 【国内長期】 【国内短期】

- | | | | | |
|-----------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ・研修期間が長い | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・人員の余裕がない | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・対象者がいない | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・費用負担が大きい | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

（出張費用のみでなく、代行者の臨時職員費用等含む）

・その他

--	--	--	--

Q 5 上記の研修に対するお考えを選択してください。

【近い意見選択（複数可）、その他の意見自由記述】

【海外長期】 【海外短期】 【国内長期】 【国内短期】

- | | | | | |
|----------------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ・職員の資質向上にとって必要である | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・大学独自の派遣は困難なため、
国大図協の事業は意義がある | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | — | — |
| ・希望者がいない | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・業務上必要がない | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ・業務に支障を生じる恐れがある | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

・その他

--	--	--	--

Ⅲ. 国大図協の海外派遣事業について

Q 6 海外長期の継続についてのお考えを選択してください。

【近い意見選択（複数可）、その他の意見自由記述】

- 大学図書館界にとって必要な事業であり、継続すべきである。
- 参加が、大規模大学中心となるので、国大図協の事業としては疑問を感じる。
- 外部資金を確保するのであれば、継続することが望ましい。
- 所要経費の一部を参加大学が自己負担するのであれば、継続することが望ましい。
- その他のご意見

--

Q 7 海外短期の継続についてのお考えを選択してください。

【近い意見選択（複数可）、その他の意見自由記述】

- 大学図書館界にとって必要な事業であり、継続すべきである。
- 小規模大学でも応募することができ、短期派遣の人数を増やすなどの強化が望ましい。
- 短期的な海外派遣は、各大学に委ねるべきで、国大図協の事業としての意義は小さい。
- グループ派遣（異なる大学から数名程度）も可能とすれば、応募しやすく成果も高められる。
- グループ派遣は、個々の責任が希薄となり、成果が期待できないので望ましくない。
- その他のご意見

--

IV. 貴機関独自の職員海外派遣について

Q 8 貴機関には、国大図協の海外派遣事業以外に図書系職員を海外に派遣する機会がありますか？

はい

いいえ

Q 9 最近3年間で、貴館の職員を海外派遣した実績があればご記入ください。

平成17(2005)年度	<input type="text"/>	名	国名	<input type="text"/>
平成18(2006)年度	<input type="text"/>	名	国名	<input type="text"/>
平成19(2007)年度	<input type="text"/>	名	国名	<input type="text"/>

Q10 派遣者の選出にあたり、重視した事項を選択してください。(複数回答可)

経験年数

実績

将来性

語学力

希望

業務との関連

コミュニケーション能力

その他

V. 図書館職員の研修事業全般について

Q11 研修についてのお考えを選択してください。

【近い意見選択(複数可)、その他の意見自由記述】

- 業務に直結する研修機会(目録講習会など)の確保が重要である。
- 最新の動向や事例を学び、業務改善機会や企画力を得ることが重要である。
- 図書館経営・情報サービスの在り方についての再教育が重要である。
- 国際的な視点に立ったマネジメント能力を備えることが重要である。
- 研修を機会とする人的ネットワークの形成が重要である。
- 研修実施後の評価が重要である。(主催機関・受講者・派遣機関)
- その他のご意見

Q12 現状に対する評価を選択してください。

【近い意見選択(複数可)、その他の意見自由記述】

- 全国、地区・県の各規模で研修が適切に開催されている。
- 全国規模の研修事業の充実が必要である。
- 地区・県規模の研修の充実が必要である。
- 初任者・中堅・管理職等の階層別に研修が適切に開催されている。
- 初任者向け研修の充実が必要である。
- 中堅職員向け研修の充実が必要である。
- 管理職向け研修の充実が必要である。
- 研修会が多すぎ、整理が必要である。
- その他のご意見

Q13 その他、研修全般・各種研修について、何かご意見がありましたらご記入ください。

(以上) ご協力ありがとうございました。

(備考)

1) 国立大学図書館協会海外派遣事業

国際的な視点に立ったマネジメント能力を備えた人材の養成が緊急の課題との認識の下で国立大学図書館協会が会員館に所属する職員を海外に派遣して調査・研究させ、職員の資質向上、育成を図ることおよびその成果を会員に普及させることを目的とした事業。

実施要領等は、本協会HP (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/anul/>)に掲載。

派遣内容は以下のとおり。

(1) イリノイ大学モーテンソンセンターのAssociates Program (8週間)

(2) 諸外国の先進的な図書館活動、施設等に関する調査・研究 (1週間～10日前後)

実施期間は平成18年度から平成20年度までの3年間で、実績は以下のとおり。

海外派遣事業応募採択状況

	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	応募	採択	応募	採択	応募	採択
(1) イリノイ大学 モーテンソンセンター	3	1	1	1	3	1
(2) 諸外国の先進的な事例の 調査・研究	1	0	0	0	1	1

なお、海外派遣事業は、法人化以前(平成10～14年度の5年間)にも実施され、毎年2名の加盟館職員が海外に派遣された。古くは、図書館員の海外派遣に活用された制度として文部科学省在外研究員制度(すでに廃止)があり、昭和50年度から二十数年間ほぼ毎年1-2名の図書館職員が海外研修を経験した。

2) イリノイ大学モーテンソンセンター アソシエイツ・プログラム (Associates Program)

イリノイ大学モーテンソンセンターの国際図書館員研修プログラム。例年秋に開講され、研修期間は8週間。プログラムは大きく(1)イリノイ大学図書館情報学大学院教員等による講義、(2)図書館及び関連機関訪問、(3)現地図書館員等による業務説明、意見交換および交流、(4)他図書館での短期研修(Host Visit)から構成される。

なお、モーテンソンセンターのアソシエイツ・プログラム修了者は、帰国後、シンポジウムや短期研修など各種講演会や研修の講師を務め、「大学図書館研究」に論文を掲載するなど活躍している。

(参考) 私立大学図書館協会の海外研修事業

私立大学図書館協会では、海外派遣研修と海外集合研修を実施されている。このうち、海外派遣研修は、国立大学図書館協会と同じくモーテンソンセンターアソシエイツ・プログラムに職員を参加させるもので、平成15年から毎年1名を派遣。海外集合研修は、協会の国際図書館協力委員会が時期・目的・訪問先等を設定し、参加者を募集して実施されており、平成15年以降、毎年5～8名程度を派遣している。

(私立大学図書館協会 国際図書館協力委員会のHP <http://www.jaspul.org/kokusai-cilc/index.html>より)